

探検する 芸術家たち

Explore

李承熙 イ・スンヒ
Lee Seunghee

裴相順 ペ・サンスン
Bae Sangsun

河明求 ハ・ミョング
Ha Myoung-goo



李承熙 Lee Seunghee
TAO.2018062201 41.8×57.3cm



河明求 Ha Myoung-goo
Pocket square series 2022_A 23×10×25cm



裴相順 Bae Sangsun
combined circle 1 32×41cm

2022年 5月4日 [水] – 5月28日 [土]

会場：桃青京都ギャラリー

休廊日：8日・9日・15日・16日・22日・23日

この度、桃青京都ギャラリーでは「Explore(探検する芸術家たち)」というテーマで韓国出身のアーティスト3人による展示を開催いたします。世界で最も有名な芸術家として評価されているパブロ・ピカソ(Pablo Ruiz Picasso, 1881年10月25日-1973年4月8日)は「探検こそが、私の存在理由である」と語っています。ピカソにとって探検とは、作品に対する執着や好奇心そのものです。ピカソは生涯におよそ1万3500点の油絵と素描、10万点の版画、3万4000点の挿絵、300点の彫刻と陶器を制作しました。自らの作品制作に対する疑問に素直に答えるため、生涯をかけて制作に取り組んだピカソの作品に対する情熱や努力は「キュビズム」といった偉大な美術史の流れを生み出す原動力となったのです。本展に参加する3人のアーティストによる作品からもピカソのような探検心を感じることができます。つまり、3人とも素材と自分の関係性について深く考察を行いながら、実験や研究を通じてオリジナルの世界にたどり着いたという特徴を持っているのです。本展に参加する3人のアーティストは、それぞれの忍苦の時期を乗り越えて独自の作品世界を構築したという共通点を持っています。3人の作品の中に秘められた作家独自の「探検心」が織りなす作品世界をぜひご高覧ください。

